

川内村移住・定住支援センターがかわうちラボ内にオープン

R3.10/18(月)

川内村移住・定住センターの設置

原発事故から10年が経過する中、人口の減少傾向がみられ地域衰退の懸念から、村でも避難村民の帰還促進に加え新たな方々の移住・定住を目的に、福島再生加速化交付金事業で「川内村移住・定住支援センター」を、一般社団法人かわうちラボ内に立ち上げました。

ラボでは、持続可能な成長を目指しつつ交流人口拡大に加え、新たな移住者発掘のため「支援センター」に相談員を配置し、移住・定住に係る情報の発信や相談窓口のワンストップ化を目指すもので、去る10月18日に開所式を行いました。

これによりラボの職員体制は次のようになります。なお理事の皆様の変更はありません。

職名	氏名	備考
代表理事	猪狩 貢	川内村副村長
事務局長	井出寿一	専務理事兼務
事務局次長	小西 誠	東京電力職員
事務補佐	渡辺柚香	
事務補佐	八木澤みのり	
相談員	新田美千夫	支援センター

移住定住センターの主な業務



- ① 移住・定住希望者からの相談受付業務
- ② 支援策（国・県・村）に係る情報提供業務
- ③ 移住希望者への村内企業の求人情報の提供業務
- ④ 村内の空き家・空き地等住まい情報の提供業務
- ⑤ 移住者に対する生活相談やフォローアップ業務
- ⑥ 首都圏での移住希望者相談会の開催業務
- ⑦ 移住者に係る交流会開催業務
- ⑧ その他、移住定住に係るすべての業務

川内優輝選手を招き村民交流会を開催します！

R3.11/2(火)

交流人口拡大を目的に、平成28年から始めた本村最大イベント「川内の郷かえるマラソン」は9月26日に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大で昨年に引き続き、中止となりました。一方でオンラインマラソンは初めて企画し、参加者218名は全員が完走しました。また実行委員会では、大会が中止となったことから「ふるさと大使」でもある川内優輝選手を招き、村民との交流会を次により開催します。午前は村民皆様を対象としたトークショーです。この機会に是非、ご参加をお待ちしております。



川内優輝選手による村民講演会概要

講演日時：11月2日（火）

午前10時30分から11時30分までの1時間

講演会場：川内村コミュニティセンター大ホール

対象者：どなた様でも自由にご参加できます。

なお、午後からは川内小中学園で児童生徒を対象にランニング教室となります。

「かわうち恵の水」完成披露会を行いました！

R3.9/13(月)

9月13日(月)に、川内村の地下水をボトリングした「かわうち恵の水」が完成し、川内村役場にて完成披露会を行いました。完成披露会には村長含め関係者20名ほどにご出席いただき、試飲をしていただきました。

川内村の生活水は地下約40～50メートルの水脈からくみ上げた地下水を使用しています。震災後は原発事故による放射能の影響が心配されておりましたが、安心安全な水であることをアピールするため、経済産業省の「地域の伝統・魅力等発信支援事業」を活用し飲料水を製造しました。

今年度製造した2万本は、一部村内の施設や事業者に配布したり、村内イベントにて配布します。川内村の美味しい天然水が完成したことをPRしブランド化を図り、2年後には販売することを目指しています。

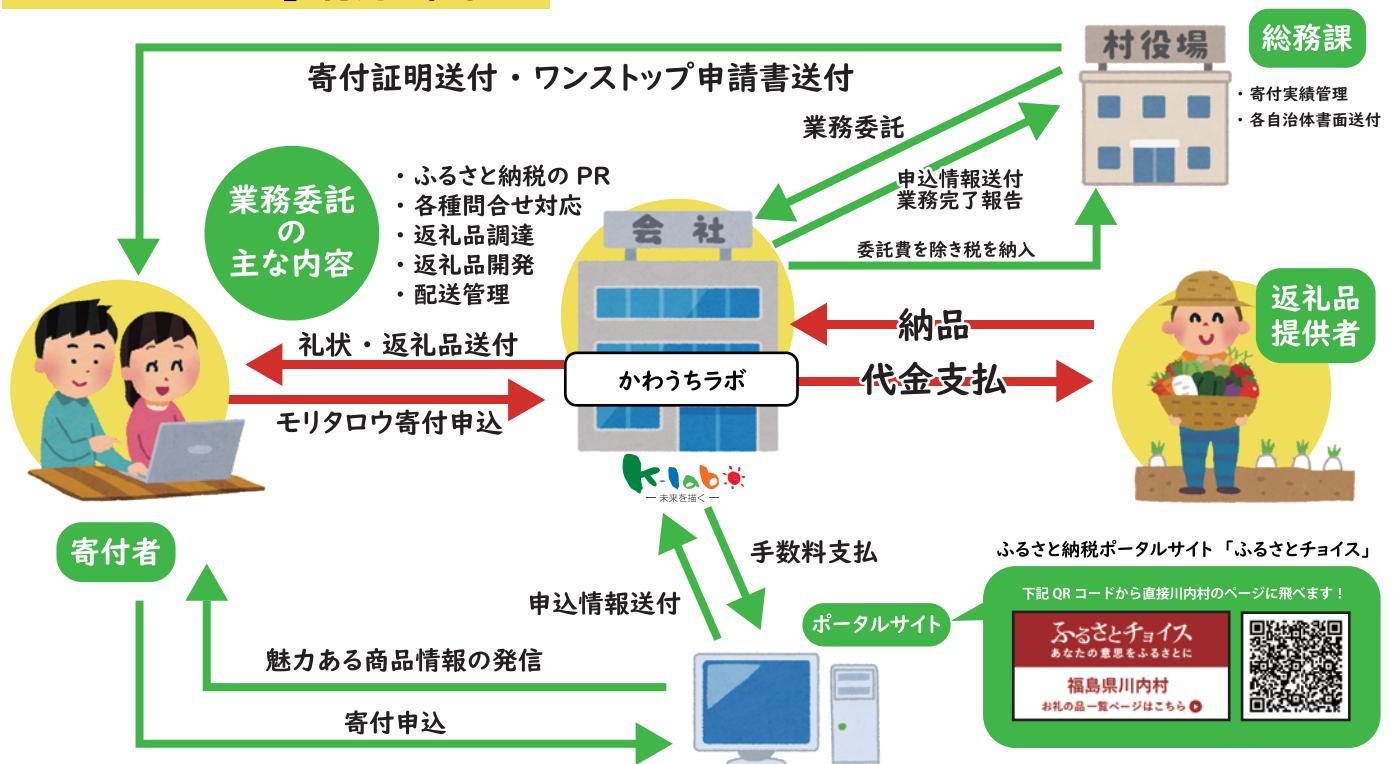


ふるさと納税の受付と返礼品はかわうちラボが窓口となります

村内の特産品の需要拡大を目指します！

ふるさと納税とは、「生まれ育ったふるさとに貢献できる制度」又は「自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度」です。ラボでは昨年から村の指導を受け納税者への返礼品開発やインターネットでの申し込み方法などを検討して参りました。その結果、10月から「ふるさとチョイス」のポータルサイトで、村の魅力ある特産品を掲載しました。今後も納税者に魅力ある情報を提供しながら、納税額のアップに加え、皆様の特産品の需要が高まり、所得アップに繋がる努力をして参りますので、ご理解とご協力をよろしくお願ひいたします。

「ふるさとチョイス」利用の仕組み



第3回かえるの郷トライアスロン in かわうちを開催しました！

R3.7/11(日)



令和3年7月11日（日曜日）に、「第3回かえるの郷トライアスロン in かわうち」を開催しました。昨年同様、様々なコロナウイルス感染対策を行っての開催となりました。福島県内では今年初のトライアスロン大会開催となります。

開会式では村民を代表し、秋元正人さんと秋元志歩ちゃんにより力強く選手宣誓が行われました。

今年の大会は、第2回大会の「福島県内在住者、定員100名」という規約から、「東北地方限定、定員130名」と規模を拡大しての募集となり、第2回大会から引き続きご参加いただいた選手も多くみられました。

当日は約130名の選手にご参加いただき、途中天気が崩れ雨が降ってしまいましたが、悪天候に負けず、緑あふれる7月の川内村での競技を楽しんでいただきました。

コロナ禍の中でやむをえず中止や延期が続いていたトライアスロン大会でしたが、ようやく競技ができる！と川内村での開催を喜んでいただくことができ、来年も参加したいとの声をたくさんいただきました。

参加者の皆様にご満足いただく大会にするため、改善を重ねて良い大会になるよう頑張りたいと思います。

令和3年度 第1回川内高原FUNランを開催しました！

R3.8/28.29(土・日)



今年1月に開催を予定しておりました「極寒の川内高原 FUN ラン」は残念ながら中止となっていましたが、今回は令和3年8月28日、29(土・日)、コロナに負けずに無事開催することができました。

当日は天気も良く、参加者の皆様は熱中症やコロナウイルス感染症の対策をしつつ、二日間かけてかえるマラソンのハーフコースを走り切りました。ランのほかに、遠藤雄幸川内村長の講演、川内村に新たにできました「株農（みのり）」のいちご栽培工場施設の見学・試食や川内村産のそば粉を使用したそば打ち体験、野菜勉強会会長の松崎君子さんの畠での野菜収穫体験等、川内村のあらゆる魅力をめいっぱい詰め込んだパッケージの「走る」×「食べる」×「体験」×「温泉」×「泊まる」を二日間で存分に満喫することができました。

高田島ヴィンヤードでワインぶどう収穫ボランティア（かわうち酒宴会活動）

さかもり
R3.10/9(土)

昨年、会員23名で立ち上げ「歸宴」や「蕎麦ビール」それに出来栄え楽しみな「かわうちワイン」を普及させながら、村を盛り上げる目的で発足した「かわうち酒宴会」では、去る10月8日に総会を開き今後の活動方針を決めました。また翌日9日は今年初めてとなる高田島ヴィンヤードでの収穫の喜びを満喫しました。

会員の皆様、早朝からお疲れ様でした。



おもしろ科学実験を開催しました【川内小中学園 11名が参加】

R3.6/19(日)

小金井市とオンラインで繋ぎ身近な地球環境を体験！

かわうちラボでは、去る6月19日（日）に東京都小金井市から東日本大震災の被災地である本村とオンラインで繋ぐ、「おもしろ科学実験」を開催しました。

この催しは、被災地である本村と宮城県山本町、石巻市の子供を対象として、実際に自分で実験することにより、科学の楽しさを実感するとともに、地球の環境に興味を持つようになるようにとの思いで行われ、当日は川内小中学園5～6年生11名が参加しました。講師は、たいへん有名なNPO法人ガリレオ工房の滝川洋二理事長が務め、青色発光ダイオードと地球環境と称して三つの科学実験を行いました。参加した子供たちは積極的に関わり約2時間、興味津々と楽しい実験となりました。



「SOTE シンポジウム」ふたばエイトとして出展

R3.3/11(木)～13日(土)

キャンドルジュン氏が代表を務める LOVE FOR NIPPON 主催のイベント「SOTE シンポジウム」にふたばエイトとしての協力依頼があり、かわうちラボもブース出展いたしました。

場所は楢葉町 Jヴィレッジ、日にちは3月11日（木）～13日（土）の3日間で開催され、ふたばエイトからは12日、13日の2日間でトークセッションと、ブース出展での参加となりました。

ブースでは、双葉郡8町村の写真と特産品の展示や各まちづくり会社の資料の配布等を行い、情報発信とシンポジウム参加者との交流を図りました。LOVE FOR NIPPON 主催のイベントということもあり、興味関心の深い方々への発信だったため、より各町村の現状を伝えることができました。

地域活力となっている「ギャラリー遠藤」訪ねてみませんか？

村の北西に位置する高田島地区の遠藤重行さんは、自宅の倉庫を改築し、自分で描いた四季折々の花や自然風景の絵画、それに自分で写した写真がずらりと展示されて、しかも無料で開放しております。

ある方の談話で「山の中の農業倉庫に素晴らしい絵や写真、感動した！」とのことです。皆様も一度、訪れてみてはいかがでしょうか。

◆ギャラリー遠藤

場 所：川内村上川内字
糠馬喰 505-56
時 間：10:00～15:00
電 話：080-1663-2600
入館料：無料



日本橋ふくしま館「MIDETTE」特産品販売会（村の特産品 PR）

R3.4/2(金)～3日(土)



令和3年4月2日（金）～3日（土）の2日間、日本橋ふくしま館「MIDETTE(ミデッテ)」催事コーナーにて、村の特産品の販売会を行いました。帰宴もとても好評でした。

2日間で川内村の魅力を存分にPRしてまいりました。

発行者・お問い合わせ先



一般社団法人
かわうちラボ
—未来を描く—

住所：福島県双葉郡川内村大字上川内字町分 282-6
TEL 0240-23-7040/FAX 0240-23-7048
ホームページ：<https://www.k-labo.or.jp/>

facebook



instagram

